

## 地域医療構想を踏まえた今後の役割について

資料1-1

区分	医療機関名	所在地	医療計画(別表)に記載の医療機能(平成30年1月29日現在)												回復期機能が区域内で不足する場合、一層担う考え方	地域医療構想を踏まえた今後の役割について(一部、資料2・資料3から抜粋)		
			がん対策	脳卒中	心血管疾患	救急	災害	周産期	小児	べき地	在宅	地域において今後担うべき役割	今後持つべき病床機能	その他見直すべき点				
公立	一宮市立市民病院	一宮市文京2丁目2番22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	周産期医療、がん診療をはじめとする高度医療、救急・災害医療を提供し、地域医療支援病院として基幹的な医療機関の役割を果たしていきます。 (事務局においてプランから抜粋)	高度急性期や急性期を担う。 (事務局においてプランから抜粋)	無 (事務局においてプランから抜粋)				
公立	一宮市立木曽川市民病院	一宮市木曽川町黒田北野黒165番地			○		○					在宅医療や介護・福祉へ円滑に移行するために必要な医療サービスを提供する役割を果たしていきます。 (事務局においてプランから抜粋)	市民病院の後方支援(補完)病院としてリハビリテーション機能を充実させる。 (事務局においてプランから抜粋)	無 (事務局においてプランから抜粋)				
公立	稻沢市民病院	稻沢市長東町沼100	○	○	○	○	○	○				近い将来と遠い将来を見据え、団塊全体の中での当院の担う役割を見極めています。 (事務局においてプランから抜粋)	地域の中核病院として二次救急医療を担当し、急性期機能を維持していく責務もあると考えます。 (事務局においてプランから抜粋)	無				
公的	愛知県厚生農業協同組合連合会稻沢厚生病院	稲沢市祖父江町本甲拾町野7	○		○	○	○	○	○	○		福沢西部地区の急性期医療と尾張西部医療圏の回復期医療を継続して担っていく。 (事務局においてプランから抜粋)	福沢西部地区の急性期医療体制と尾張西部医療圏の回復期医療体制の継続を担っていくべきであると考えることから現状の病床機能を継続していく。 (事務局においてプランから抜粋)	無				
公的	総合大雄会病院	一宮市桜1-9-9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	引き続き、高度急性期・急性期医療、救命救急の提供体制を強化していく。 将来における地域の高度急性期需要の増加に対応するため、平成30年5月に大雄会第一病院から産婦人科を移転。数年以内に泌尿器科、形成外科、血管外科を移転し急性期機能を統合する。院内ICU、SCU、循環器系の高度急性期病棟を整備予定。	将来における地域の高度急性期需要の増加に対応するため、平成30年5月に大雄会第一病院から産婦人科を移転。数年以内に泌尿器科、形成外科、血管外科を移転し急性期機能を統合する。院内ICU、SCU、循環器系の高度急性期病棟を整備予定。	無				
救急医療等	一宮西病院	一宮市開明字平1番地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病床利用率が高く、地域の急性期病院としてのニーズが高いため、一宮西病院はこれまでどおり急性期医療を提供していく。 現在のところ、予定されている増床分を含め、高度急性期を含む急性期を559床、回復期を2床、慢性期を1床を法人全体の機能として持つことを計画している。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築をすすめていく。	現在のところ、予定されている増床分を含め、高度急性期を含む急性期を559床、回復期を2床、慢性期を1床を法人全体の機能として持つことを計画している。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築をすすめていく。	無				
救急医療等	医療法人泰玄会 泰玄会病院	一宮市東五城字備前1-1			○	○	○	○				地域に密着し、必要な急性期医療の提供体制は維持するとともに、ポストアキュー、サブアキューなどもかかわっていくことが求められると考えている。 現在の急性期機能は維持しつつ、急性期及び回復期の適正な病床数及び病棟区分については検討の余地があると考えている。	地域に密着し、必要な急性期医療の提供体制は維持しつつ、急性期及び回復期の適正な病床数及び病棟区分については検討の余地があると考えている。 現在のところ、予定されている増床分を含め、高度急性期を含む急性期を559床、回復期を2床、慢性期を1床を法人全体の機能として持つことを計画している。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築をすすめている。	病床数等、今のところ検討する予定はないが、病棟の交替は検討中。 無				
救急医療等	尾西記念病院	一宮市畠田字宮東1718-1			○			○				回復期医療と急性期医療の提供体制を維持していく 現在のところ、予定されている増床分を含め、高度急性期を含む急性期を559床、回復期を2床、慢性期を1床を法人全体の機能として持つことを計画している。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築をすすめていく。	現在のところ、予定されている増床分を含め、高度急性期を含む急性期を559床、回復期を2床、慢性期を1床を法人全体の機能として持つことを計画している。また、法人全体の機能をもって在宅医療も含めた地域包括ケアシステムの構築をすすめていく。	無				

注) 公立:新公立病院改革プラン策定対象医療機関

公的・公的医療機関等2025プラン策定対象医療機関(新公立病院改革プラン策定対象医療機関を除く公的医療機関等、国立病院機構及び労働者健康安全機構が開設する医療機関、地域医療支援病院、特定機能病院)

救急医療等:救急医療等を担う中心的な医療機関

<参考>